

当PDF文書は上に示されている企業に関する詳細レポートのアップデート版として作成されたものです。  
 詳細レポート全体につきましては弊社ウェブサイトをご覧ください。

**2018年5月15日、株式会社RVHは2018年3月期通期決算を発表した。**

四半期業績推移 (累計) (百万円)	FY03/16				FY03/17				FY03/18				FY03/18通期	
	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q	(達成率)	通期会予
売上高	2,579	5,071	7,504	18,070	10,585	20,999	31,046	41,533	13,016	26,734	39,794	53,006	100.0%	53,000
前年同期比	1082.0%	1015.9%	346.4%	245.6%	310.5%	314.1%	313.7%	129.8%	23.0%	27.3%	28.2%	27.6%		27.6%
売上総利益	624	1,162	1,693	8,958	8,064	16,053	23,609	32,347	10,847	22,289	32,532	43,880		
前年同期比	1012.6%	1129.5%	332.1%	656.6%	1192.7%	1281.6%	1294.7%	261.1%	34.5%	38.8%	37.8%	35.7%		
売上総利益率	24.2%	22.9%	22.6%	49.6%	76.2%	76.4%	76.0%	77.9%	83.3%	83.4%	81.8%	82.8%		
販管費	318	528	827	6,136	6,632	14,097	21,371	29,718	10,958	21,928	31,673	43,143		
前年同期比	234.1%	189.7%	137.6%	764.6%	1986.5%	2572.1%	2482.7%	384.3%	65.2%	55.6%	48.2%	45.2%		
売上高販管費比率	12.3%	10.4%	11.0%	34.0%	62.7%	67.1%	68.8%	71.6%	84.2%	82.0%	79.6%	81.4%		
営業利益	306	634	865	2,822	1,432	1,957	2,238	2,629	-110	360	859	737	40.9%	1,800
前年同期比	-	-	1894.5%	495.0%	367.9%	208.4%	158.6%	-6.8%	-	-81.6%	-61.6%	-72.0%		-31.5%
営業利益率	11.9%	12.5%	11.5%	15.6%	13.5%	9.3%	7.2%	6.3%	-	1.3%	2.2%	1.4%		3.4%
経常利益	313	645	874	2,857	1,475	2,080	2,369	2,797	-95	436	961	912	48.0%	1,900
前年同期比	-	-	711.4%	423.8%	370.9%	222.3%	171.1%	-2.1%	-	-79.0%	-59.4%	-67.4%		-32.1%
経常利益率	12.1%	12.7%	11.6%	15.8%	13.9%	9.9%	7.6%	6.7%	-	1.6%	2.4%	1.7%		3.6%
四半期純利益	103	397	577	2,087	848	1,137	1,077	841	-312	-262	-94	317	53.7%	590
前年同期比	-	-	-21.7%	107.5%	719.3%	186.0%	86.7%	-59.7%	-	-	-	-62.3%		-29.9%
四半期純利益率	4.0%	7.8%	7.7%	11.5%	8.0%	5.4%	3.5%	2.0%	-	-	-	0.6%		1.1%

  

四半期業績推移 (3か月) (百万円)	FY03/16				FY03/17				FY03/18			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
売上高	2,579	2,492	2,433	10,566	10,585	10,414	10,047	10,487	13,016	13,718	13,060	13,212
前年同期比	1082.0%	954.9%	98.3%	197.8%	310.5%	317.9%	312.9%	-0.7%	23.0%	31.7%	30.0%	26.0%
売上総利益	624	538	531	7,266	8,064	7,989	7,555	8,738	10,847	11,442	10,243	11,348
前年同期比	1012.6%	1300.1%	78.6%	817.0%	1192.7%	1384.7%	1323.2%	20.3%	34.5%	43.2%	35.6%	29.9%
売上総利益率	24.2%	21.6%	21.8%	68.8%	76.2%	76.7%	75.2%	83.3%	83.3%	83.4%	78.4%	85.9%
販管費	318	210	300	5,309	6,632	7,464	7,274	8,347	10,958	10,970	9,745	11,470
前年同期比	234.1%	141.2%	80.4%	1368.9%	1986.5%	3459.8%	2325.5%	57.2%	65.2%	47.0%	34.0%	37.4%
売上高販管費比率	12.3%	8.4%	12.3%	50.2%	62.7%	71.7%	72.4%	79.6%	84.2%	80.0%	74.6%	86.8%
営業利益	306	328	231	1,957	1,432	525	281	391	-110	470	499	-122
前年同期比	-	-	76.4%	354.1%	367.9%	59.9%	21.8%	-80.0%	-	-10.4%	77.4%	-
営業利益率	11.9%	13.2%	9.5%	18.5%	13.5%	5.0%	2.8%	3.7%	-0.8%	3.4%	3.8%	-0.9%
経常利益	313	332	229	1,983	1,475	604	289	428	-95	531	525	-49
前年同期比	-	-	15.6%	353.1%	370.9%	82.1%	26.4%	-78.4%	-	-12.1%	81.7%	-
経常利益率	12.1%	13.3%	9.4%	18.8%	13.9%	5.8%	2.9%	4.1%	-0.7%	3.9%	4.0%	-0.4%
四半期純利益	103	294	179	1,510	848	289	-60	-235	-312	50	168	411
前年同期比	-	-	-78.4%	460.6%	719.3%	-1.8%	-	-	-	-82.7%	-	-
四半期純利益率	4.0%	11.8%	7.4%	14.3%	8.0%	2.8%	-0.6%	-2.2%	-2.4%	0.4%	1.3%	3.1%

出所：会社データを基にSR社作成

\*表の数値が会社資料とは異なる場合があるが、四捨五入により生じる相違であることに留意。

セグメント別 四半期業績 (累計) (百万円)	FY03/16				FY03/17				FY03/18				FY03/18通期 (達成率) 通期会予	
	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q		
売上高	2,579	5,071	7,504	18,070	10,585	20,999	31,046	41,533	13,016	26,734	39,794	53,006	100.0%	53,000
前年同期比	1082.0%	1015.9%	346.4%	245.6%	310.5%	314.1%	313.8%	129.8%	23.0%	27.3%	28.2%	27.6%		27.6%
美容事業	-	-	-	8,247	8,379	16,737	24,545	33,370	11,719	24,191	36,014	47,871		na
前年同期比	-	-	-	-	-	-	-	304.6%	39.9%	44.5%	46.7%	43.5%		
構成比	-	-	-	45.6%	79.2%	79.7%	79.1%	80.3%	90.0%	90.5%	90.5%	90.3%		
メディア・コンサルティング事業	2,379	4,614	6,813	8,947	2,000	3,808	5,845	7,191	1,061	2,045	3,040	4,132		na
前年同期比	na	na	630.1%	114.9%	-15.9%	-17.5%	-14.2%	-19.6%	-47.0%	-46.3%	-48.0%	-42.5%		
構成比	92.3%	91.0%	90.8%	49.5%	18.9%	18.1%	18.8%	17.3%	8.1%	7.6%	7.6%	7.8%		
システム開発事業	200	456	690	876	205	455	656	972	236	497	740	1,002		na
前年同期比	-8.5%	0.5%	-7.7%	-17.8%	2.9%	-0.3%	-4.9%	10.9%	15.1%	9.2%	12.7%	3.1%		
構成比	7.7%	9.0%	9.2%	4.8%	1.9%	2.2%	2.1%	2.3%	1.8%	1.9%	1.9%	1.9%		
営業利益	306	634	865	2,822	1,432	1,957	2,238	2,629	-110	360	859	737	40.9%	1,800
前年同期比	-	-	-189.5%	495.0%	367.9%	208.4%	158.6%	-6.8%	-	-81.6%	-61.6%	-72.0%		-31.5%
美容事業	-	-	-	1,738	1,263	1,739	1,830	2,214	-234	194	692	731		
前年同期比	-	-	-	-	-	-	-	27.4%	-	-88.8%	-62.2%	-67.0%		
構成比	-	-	-	61.6%	88.2%	88.9%	81.8%	84.2%	-	53.9%	80.6%	99.2%		
利益率	-	-	-	21.1%	15.1%	10.4%	7.5%	6.6%	-2.0%	0.8%	1.9%	1.5%		
メディア・コンサルティング事業	369	760	1,020	1,122	228	389	605	594	127	146	130	-41		na
前年同期比	na	na	595.5%	89.0%	-38.3%	-48.8%	-40.7%	-47.1%	-44.3%	-62.5%	-78.5%	-		
構成比	120.7%	119.8%	117.9%	39.8%	15.9%	19.9%	27.0%	22.6%	-	40.6%	15.1%	-5.6%		
利益率	15.5%	16.5%	15.0%	12.5%	11.4%	10.2%	10.4%	8.3%	12.0%	7.1%	4.3%	-1.0%		
システム開発事業	-30	-65	-78	-75	-50	-62	-69	-37	-9	0	4	12		na
前年同期比	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
構成比	-9.7%	-10.2%	-9.0%	-2.7%	-3.5%	-3.2%	-3.1%	-1.4%	-	0.0%	0.5%	1.6%		
利益率	-14.9%	-14.2%	-11.2%	-8.6%	-24.4%	-13.7%	-10.5%	-3.8%	-3.9%	0.0%	0.5%	1.2%		
調整額	-33	-61	-78	38	-9	-110	-128	-142	6	20	31	35		na
構成比	-10.9%	-9.6%	-9.0%	1.3%	-0.6%	-5.6%	-5.7%	-5.4%	-5.2%	5.6%	3.6%	4.7%		
四半期業績推移 (3か月) (百万円)	FY03/16				FY03/17				FY03/18					
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4		
売上高	2,579	2,492	2,433	10,566	10,585	10,414	10,047	10,487	13,016	13,718	13,060	13,212		
前年同期比	1082.0%	954.9%	98.3%	197.8%	310.5%	317.9%	312.9%	-0.7%	23.0%	31.7%	30.0%	26.0%		
美容事業	-	-	-	8,247	8,379	8,357	7,808	8,825	11,719	12,472	11,823	11,857		
前年同期比	-	-	-	-	-	-	-	7.0%	39.9%	49.2%	51.4%	34.4%		
構成比	-	-	-	78.1%	79.2%	80.2%	77.7%	84.2%	90.0%	90.9%	90.5%	89.7%		
メディア・コンサルティング事業	2,379	2,235	2,199	2,133	2,000	1,807	2,038	1,346	1,061	984	995	1,092		
前年同期比	-	-	-135.6%	-33.9%	-15.9%	-19.2%	-7.3%	-36.9%	-47.0%	-45.5%	-51.2%	-18.9%		
構成比	92.3%	89.7%	90.4%	20.2%	18.9%	17.4%	20.3%	12.8%	8.1%	7.2%	7.6%	8.3%		
システム開発事業	200	257	234	185	205	250	201	315	236	261	243	262		
前年同期比	-	-	-20.3%	-41.7%	2.9%	-2.7%	-14.0%	70.1%	15.1%	4.3%	20.7%	-16.9%		
構成比	7.7%	10.3%	9.6%	1.8%	1.9%	2.4%	2.0%	3.0%	1.8%	1.9%	1.9%	2.0%		
営業利益	306	328	231	1,957	1,432	525	281	391	-110	470	499	-122		
美容事業	-	-	-	1,738	1,263	476	90	384	-234	428	498	39		
前年同期比	-	-	-	-	-	-	-	-77.9%	-	-10.2%	451.0%	-89.8%		
構成比	-	-	-	88.8%	88.2%	90.7%	32.1%	98.2%	-	91.0%	99.8%	-		
利益率	-	-	-	21.1%	15.1%	5.7%	1.2%	4.4%	-2.0%	3.4%	4.2%	0.3%		
メディア・コンサルティング事業	369	391	260	102	228	162	216	-11	127	19	-16	-171		
前年同期比	-	-	-77.4%	-77.2%	-38.3%	-58.7%	-17.2%	-	-44.3%	-88.2%	-	-		
構成比	120.7%	119.1%	112.7%	5.2%	15.9%	30.8%	76.6%	-2.8%	-	4.1%	-3.2%	-		
利益率	15.5%	17.5%	11.8%	4.8%	11.4%	8.9%	10.6%	-0.8%	12.0%	1.9%	-1.6%	-15.7%		
システム開発事業	-30	-35	-13	2	-50	-12	-7	32	-9	9	4	8		
前年同期比	-	-	-	-42.9%	-	-	-	1446.5%	-	-	-	-75.0%		
構成比	-9.7%	-10.7%	-5.5%	0.1%	-3.5%	-2.3%	-2.5%	8.2%	-	1.9%	0.8%	-		
利益率	-14.9%	-13.7%	-5.4%	1.1%	-24.4%	-4.8%	-3.5%	10.2%	-3.9%	3.5%	1.6%	3.1%		
調整額	-33	-28	-17	115	-9	-101	-18	-14	6	14	11	4		
構成比	-10.9%	-8.4%	-7.2%	5.9%	-0.6%	-19.2%	-6.3%	-3.6%	-5.2%	3.0%	2.2%	-3.3%		

出所：会社データを基にSR社作成

\*表の数値が会社資料とは異なる場合があるが、四捨五入により生じる相違であることに留意。

## 業績の季節性

同社グループの美容事業では、夏季および年末年始に顧客獲得が集中する傾向にある。これらの時期に、マーケティング活動を強化し、広告宣伝費の積極的投入を行う。一方、顧客と契約締結時に同社はその契約代金を前受金として計上し、その後、顧客への役務提供に応じて前受金を売上高へ振りかえる会計処理を行う。顧客の来店頻度は年間を通じて概ね一定で推移する結果、役務提供に係る売上高はこれに伴い年間を通じて一定となる傾向がある。そのため、契約獲得の集中時期である第2四半期と第4四半期には、売上高に対する費用負担割合が大きくなる傾向がある。

## 決算概要

2018年3月期通期連結実績は、売上高は53,006百万円（前期比+27.6%）、EBITDA4,042百万円（同-18.3%）、営業利益737百万円（同-72.0%）、経常利益912百万円（同-67.4%）、親会社株主に帰属する当期純利益317百万円（同-62.3%）

となった。同社修正計画（2018年2月14日発表）に対する実績の達成率は、売上高100.0%、営業利益40.9%、経常利益48.0%、親会社株主に帰属する当期純利益53.7%となった。

売上高は、美容事業において人材不足の影響により施術売上が同社予想を下回って推移し、また、メディア・コンサルティング事業における広告代理店部門の過払金広告案件の受注が同社想定より減少した。しかし、美容事業の各ブランドにおいて、物販売上が好調に推移したことなどによりカバーし、同社予想にインラインで着地した。

一方、利益面では同社予想と実績の間で大きくマイナスの差異が生じた。広告代理店部門における一部売掛金に係る貸倒引当金および美容脱毛部門におけるクレジット決済代行会社1社の売掛金回収遅延に伴う貸倒引当金の計上、上述の施術売上減少などがその要因。美容事業においてマーケティング施策の見直しなどによるコスト削減、雇用確保のための人事施策の実行を図ったがカバーできなかった。

\*2018年3月会社予想（期初）はレンジ形式での予想開示であったが、第3四半期累計期間において連結業績予想値の確度が高まったことから、単独数値での公表に改められた（2018年2月14日）

#### 2018年3月期通期修正予想

- ▷ 売上高：5,300百万円（前回予想：52,000百万円～53,700百万円）
- ▷ 営業利益：1,800百万円（同1,730百万円～2,460百万円）
- ▷ 経常利益：1,900百万円（同1,850百万円～2,610百万円）
- ▷ 当期純利益：590百万円（同630百万円～890百万円）
- ▷ 1株当たり当期純利益：34.40円（同37.34円～52.75円）

#### 修正の理由

事業環境及び業績動向等を踏まえ算出した2018年3月期通期の売上高、営業利益、経常利益については、いずれも前回予想のレンジ内に収まる見込みとなった。親会社株主に帰属する当期純利益については、法人税等負担額が期初予想より増加する見込みであること等により前回予想を下回る見通しとなった。

## 売上高

2018年3月期連結売上高は53,006百万円（前期比+27.6%）となった。美容事業エステティック部門において人員不足により施術売上が同社期首予想を下回ったものの、各美容ブランドの物販売上が期首予想を上回った。また、エステティックサロン「たかの友梨ビューティクリニック」を展開する株式会社不二ビューティの業績が当第1四半期の期首より寄与したことなどが増収の背景。セグメント別では、美容事業が47,871百万円（前期比+43.5%；売上高構成比90.3%）、メディア・コンサルティング事業が4,132百万円（同-42.5%；同7.8%）、システム開発事業が1,002百万円（同+3.1%；同1.9%）の売上高となった（以上、外部顧客への売上高ベース）。主力事業である美容事業において、業界最大規模を有する優位性を活用し、更なる収益拡大によるグループ企業価値の向上を目的とした成長部門への積極投資を実行している。同時に、各事業分野が有する顧客基盤、技術基盤、サービス基盤を活用したシナジーの最大化に取り組んだ。

## 利益

2018年3月期連結営業利益は737百万円（前期比-72.0%）となった。同経常利益は912百万円（同-67.4%）となった。美容事業の新ブランド「コロリー」における積極的な広告宣伝投資や他の各ブランドにおける積極的な広告宣伝活動の実施、M&Aに伴う店舗・従業員数の増加を主因とする人件費、地代家賃などの費用増加が営業減益の理由。法人税等合計963百万円の計上により、親会社株主に帰属する当期純利益は317百万円（同-62.3%）となった。

尚、法人税等合計963百万円の内、法人税等調整額は847百万円であるが、これは主に、ミュゼプラチナム社における旧会社からの事業譲受により生じた税務上ののれんにつき、税務上の損金算入額に応じて、対応する繰延税金資産を取り崩

している影響によるもの。当該税務上ののれんは、発生から5年間の定額法により償却しており、償却が終了することにより、当該繰延税金資産の取崩しによる法人税等調整額の計上も終了となる。

## セグメント別

### 美容事業

美容事業の売上高は、前期比43.5%増の47,871百万円（売上高構成比90.3%）となった。同営業利益は、同67.0%減の731百万円となり、EBITDAは同10.3%減の3,929百万円となった。美容部門「ミュゼプラチナム」とエステティック部門「たかの友梨ビューティークリニック」の自社オリジナル化粧品などの物販売上が好調に推移した。一方、施術売上高は、美容業界全体の深刻な人材不足を背景に、厳しい展開となった。尚、株式会社不二ビューティ及び美容脱毛部門「コロリー」の業績が期首より寄与した。2018年3月期末の店舗数は378となった（第3四半期末に比べて5店舗増加：出店9、退店4）。

「ミュゼプラチナム」ブランドでは、施術売上高がやや減少傾向で推移したものの、美容脱毛コースと併せた自社ブランド化粧品の販売を促進させたことに等より、物販が前期比145%増と好調に推移した。契約獲得高についても、2017年4月より開始した土日優遇コースの導入・価格改定により前期比18%増と好調に推移した。「コロリー」ブランドでは、翌期以降の売上利益貢献を目指し、引き続き新規顧客を獲得するため「フェイシャルケア」や「オーダーメイド脱毛」等、美容脱毛コースの拡充を行った。2018年2月から開始した、新コースが好評となり、2018年3月の「コロリー」の月間契約高は前年同期比82.8%増となった。

エステティック部門においては、「たかの友梨ビューティークリニック」の契約獲得高は、引き続き40周年記念キャンペーンを実施したこと等により、下半期に広告宣伝費を絞り込んだ（上半期比47%抑制）なかでも、前期に比べて増加した。化粧品物販等については2017年10月より販売開始したエイジングケア商品「たかの友梨スーパーセル」の販売が特に好調であった。しかし、施術売上高についてはエステティック業界における深刻な人材不足の影響によりサービス供給が予定どおり進捗しなかったこと等から厳しい展開となった。

### メディア・コンサルティング事業

メディア・コンサルティング事業の売上高は、前期比42.5%減の4,132百万円（売上高構成比7.8%）となった。同営業損益は、損失41百万円（前期は594百万円の営業利益）となった。EBITDAは前期比93.8%減の41百万円となった。広告代理店部門における過払金請求広告案件が縮小傾向にあることや、美容事業において今後より効果的な広告戦略を実行するため、マス広告出稿先の見直しを行い、これに伴い広告代理店部門の内部売上を一部縮小したことなどが前期比減収・減益の主要因。

広告代理店部門においては、主に弁護士、司法書士などの士業に対する過払金請求広告サービスとして、出張無料法律相談会の企画・運営サポート、ポスティング・新聞折込広告サービスの提供を行った。また、WEBマーケティング部門においては、グループ内外のWEBサイト企画制作およびSEO対策やリスティング、アフィリエイトなどのマーケティングサービスの提供を行った。更に、コンサルティング部門においては、主にグループ内の美容事業に関する広告サービス展開として「Hot Pepper（ホットペッパー）本誌」・「Hot Pepper Beauty（ホットペッパービューティー）」の代理事業のほか、ローカルエリアの潜在顧客に対するブランド訴求のため、映画館広告枠「シネアド」の取り扱いを開始した。

### システム開発事業

システム開発事業の売上高は、前期比3.1%増の1,002百万円（売上高構成比1.9%）となった。同営業利益は12百万円（前期は37百万円の営業損失）、EBITDAは前期比0.1%増の32百万円となった。システムエンジニアリング及びバックオフィスに係る人材派遣、PCデータ消去&リサイクルサービス、組込系システムの受託開発、サーバー構築・運用・保守、医

用画像表示ソフト「FVT-air」の販売などを行った。同社グループの技術センターとして、開発体制のグループ内製化によるコスト削減に向けた取り組みを図り、営業損益黒字化を実現した。

## 今期会社計画

(百万円)	17年3月期			18年3月期			19年3月期 会予
	上半期実績	下半期実績	通期実績	上半期実績	下半期実績	通期実績	
<b>売上高</b>	<b>20,999</b>	<b>20,534</b>	<b>41,533</b>	<b>26,734</b>	<b>26,272</b>	<b>53,006</b>	<b>58,300</b>
売上原価	4,946	4,240	9,186	4,445	4,681	9,125	
<b>売上総利益</b>	<b>16,053</b>	<b>16,294</b>	<b>32,347</b>	<b>22,289</b>	<b>21,591</b>	<b>43,880</b>	
売上総利益率	76.4%	79.4%	77.9%	83.4%	82.2%	82.8%	
販売費及び一般管理費	14,097	15,622	29,718	21,928	21,215	43,143	
売上高販費比率	67.1%	76.1%	71.6%	82.0%	80.8%	81.4%	
<b>営業利益</b>	<b>1,957</b>	<b>672</b>	<b>2,629</b>	<b>360</b>	<b>377</b>	<b>737</b>	<b>2,140</b>
営業利益率	9.3%	3.3%	6.3%	1.3%	1.4%	1.4%	3.7%
<b>経常利益</b>	<b>2,080</b>	<b>717</b>	<b>2,797</b>	<b>436</b>	<b>476</b>	<b>912</b>	<b>2,130</b>
経常利益率	9.9%	3.5%	6.7%	1.6%	1.8%	1.7%	3.7%
<b>当期純利益</b>	<b>1,137</b>	<b>-296</b>	<b>841</b>	<b>-262</b>	<b>579</b>	<b>317</b>	<b>760</b>
純利益率	5.4%	-1.4%	2.0%	-1.0%	2.2%	0.6%	1.3%

出所：会社データを基にSR社作成

\*表の数値が会社資料とは異なる場合があるが、四捨五入により生じる相違であることに留意

## 2019年3月期会社予想

2019年3月期会社予想は、売上高58,300万円（前期比10.0%増）、営業利益2,140百万円（同190.4%増）、経常利益2,130百万円（同133.6%増）、親会社株主に帰属する当期純利益760百万円（同139.7%増）である。

2017年4月より新たな収益基盤として成長させるべく投資を行ってきた美容脱毛部門の新ブランド「コロリー」については、2018年3月期により顧客契約獲得が伸長した。2019年3月期は施術来店数の増加による増収および収益率の改善を同社は見込んでいる。

美容脱毛部門の既存ブランドである「ミュゼプラチナム」については、2018年3月期第2四半期より物販売上が好調に推移した。2019年3月期については、施術売上を維持するための人材確保施策として多様な働き方を選択できる制度の拡大、物販売上の更なる拡大のための物販販路の開拓強化等に取り組んでいく。エステティック部門については、施術売上増加のための施策として募集媒体の拡大、再雇用の促進、管理職者、教育スタッフの研修強化による雇用確保に取り組む。同時に、マーケティング施策の見直しによる広告宣伝費の抑制、原価管理の徹底など、コスト削減施策による損益分岐点の引上げに取り組んでいく。尚、メディア・コンサルティング事業については、2018年3月期より同社グループの美容事業に係るWeb広告サービスなどに注力しているが、外部売上である広告代理店部門の過払金広告案件は引続き縮小傾向となると同社は見込んでいる。

このリサーチメモは、掲載企業の[最新版レポート](#)にも掲載されています。

株式会社シェアードリサーチは今までにない画期的な形で日本企業の基本データや分析レポートのプラットフォーム提供を目指しています。さらに、徹底した分析のもとに顧客企業のレポートを掲載し随時更新しています。

### ディスクレーム

本レポートは、情報提供のみを目的としております。投資に関する意見や判断を提供するものでも、投資の勧誘や推奨を意図したものではありません。SR Inc.は、本レポートに記載されたデータの信憑性や解釈については、明示された場合と黙示の場合の両方につき、一切の保証を行わないものとします。SR Inc.は本レポートの使用により発生した損害について一切の責任を負いません。

本レポートの著作権、ならびに本レポートとその他Shared Researchレポートの派生品の作成および利用についての権利は、SR Inc.に帰属します。本レポートは、個人目的の使用においては複製および修正が許されていますが、配布・転送その他の利用は本レポートの著作権侵害に該当し、固く禁じられています。SR Inc.の役員および従業員は、SR Inc.の調査レポートで対象としている企業の発行する有価証券に関して何らかの取引を行っており、または将来行う可能性があります。そのため、SR Inc.の役員および従業員は、該当企業に対し、本レポートの客観性に影響を与える利害を有する可能性があることにご留意ください。

### 金融商品取引法に基づく表示

本レポートの対象となる企業への投資または同企業が発行する有価証券への投資についての判断につながる意見が本レポートに含まれている場合、その意見は、同企業からSR Inc.への対価の支払と引き換えに盛り込まれたものであるか、同企業とSR Inc.の間に存在する当該対価の受け取りについての約束に基づいたものです。

### 連絡先

株式会社シェアードリサーチ / Shared Research Inc.  
東京都文京区千駄木3-31-12  
HP: <https://sharedresearch.jp>  
TEL : (03)5834-8787  
Email: [info@sharedresearch.jp](mailto:info@sharedresearch.jp)